

# さんくす

第43号 2024/12/01

Page 1

発 行: 笠懸町第三区広報委員会

発行所: 笠懸町第三区公民館

<https://sannkusu-kasakake.com>

sannkusu.kasakake@gmail.com



Webサイト

## ベルクオープンで様変わり

食品スーパー「ベルク」桐生市場店が10月16日(水)に営業を開始、当日は早朝から目当ての商品を求めて買い物客が殺到し、国道50号線をはじめ周辺道路は渋滞が発生しました。

ベルクはフォルテ桐生市場店の核となる店舗で、他にはスターバックスコーヒーやドラッグストアのウ



エルシア、100円ショップのダイソー、や美容室のヘアーサロンベストなどが並ぶショッピングモールです。

スターバックスコーヒーは桐生・みどり地域で初の出店で、近隣で理髪店を営む女性は「桐生の中心がこっちに来た」と話していて、これまで手入れが行き届かずに生け垣がうつそうとしていた場所が華やかになったことを喜んでいるようです。

一方で道路の渋滞や交通事故の発生などもあり、手放しで喜べないことも確かです。写真はオープン初日に大渋滞となった国道50号線。

## 荒神山の下草刈りが行われる

11月9日(土)、笠懸東小学校校区にあたる、1区、2区、3区の住民や、土地改良区のほか、農地と水協議会役員、東小学校の児童や保護者とPTA、教職員など、およそ70人が同校に隣接する荒神山の下草刈りを行いました。

参加者たちは、鎌や刈払機を手に荒神山のカタクリ西群生地と東群生地のほか、登山道などに分かれて30センチから背丈ほどにも伸びた下草や篠を刈り、1時間ほどで作業を終了しました。

荒神山の下草刈りは、子どもたちの学びの場所となっている荒神山の整備のほか、地域住民が里山として親しむことを目的として始められました。下草刈りを行うことで、自生していたカタクリが勢いを増し、3月下旬にはカタクリの花が北斜面の谷間を埋め尽くします。写真は3区の参加者。



## 散歩道 <あかがね街道の宿場と銅蔵> ④ 筆者 國井 洋子

あかがね街道は御用銅の輸送路でしたから、幕府の大好きな御用銅を安全に運ぶという使命がありました。重い銅板を馬で運ぶには、人馬の休憩所、交替できる中継場所の宿場が必要でした。宿場通りは石畳の道が敷かれていましたが、それ以外の足尾からの山間道は、人馬がやっと通れるような狭い坂道でした。

(写真下 今も残るあかがね街道)

宿場には銅蔵を設け、そこに銅問屋が置かれ、御用銅が厳重に管理できる体制が作られました。花輪宿の



銅蔵であった高草木家には銅問屋の印鑑や御用札などのほか、江戸時代の多くの古文

書が残されています。

(写真右 花輪宿の銅蔵)



大間々宿は、あかがね街道の沿線では古くから栄えた宿場で、近隣の村々で養蚕が盛んになると、生糸市として賑わいました。幕末には前橋藩に入ったために、大間々宿の銅蔵は幕府領の桐原宿へと変わりました。現在、保存されている銅蔵は、花輪宿、桐原宿、前島河岸で見られます。

みどり市大間々博物館(コノドント館)は、あかがね街道の大間々宿にある博物館で、コノドントの化石などの自然展示のほかに、あかがね街道の人々の暮らしと歴史がわかる展示がみられます。

## 笠

### 懸まつり、3区からも参加

笠懸まつりが9月28日(土)にボートレース桐生を開場にして開催されました。

ボートレース場での開催も今年で3年目となりました。またイベント内容も年々充実してきたことから住民への認知度もかなり上がってきました。11時30分の開場前から水面花火が終了する午後8時まで、場内はもちろん駐車場も大盛況の状況でした。

3区からは親老会のパレード、子ども八木節、八木節愛好会などが参加し、会場を盛り上げました。

3区テントでは昨年同様、区民の来場者に飲料やお菓子を配布していましたが、今後さらに認知度を高めるような事前PR活動も検討していくとのことでした。



祭りを盛り上げた3区八木節

## わ

### かばサロンでマンドリンを楽しむ

9月5日(木)10時より、3区公民館ホールにおいて福祉部主催によるわかばサロンⅡが開催されました。

1部はマンドリンクラブ「ボニータ」の演奏で高校三年生など昭和の歌謡曲と童謡・唱歌など5曲を演奏しました。参加者は歌詞カードを見ながら歌声喫茶のように懐かしいメロディーを口ずさんでいました(写真)。

2部は輪投げゲームを2セットしました。輪投げゲームも簡単そうですが、イメージ通りに投げられなくて結構難しいものです。表彰式のあと11時半頃には終了しました。今年は9月になっても残暑が厳しく昭和時代の涼しい秋が早く訪れる事を願っています。



ルール説明を聞く参加者たち

## 3

### 区GG優勝は高野好孝さん

10月19日(土)3区福祉部主催によるグランドゴルフ大会が開催され37名が参加しました。

この大会は、競技成績よりも区民の人々が楽しく交流することや親睦を図ることを目的としています。当日は最高気温29℃と季節外れの夏日の暑さでした。それでも、時折吹く風は清々しい秋らしさを感じました。

今回は特に初心者が多かったためルールや打ち方など教わりながら、笑顔とおしゃべりで楽しく汗を流していました。

表彰式の景品も上位者だけではなくラッキー賞、感謝賞など幅広く手厚く用意していました。この大会の多様な景品も楽しみのひとつです。

成績上位者は次のとおりです。1位高野好孝さん 2位石坂ヨシ子さん 3位下山博三さん 4位山洞信之さん 5位吉原猛さんでした。



**育**

**成会バス旅行で地震体験** 9月7日(土)、笠懸町第3区子ども育成会主催による、第12回目となる日帰りバス行事が行われました。この行事開催は保護者同伴の参加形式で、学習内容を取り入れて子どもと同時に親の交流を深めることを目的としています。今年度は例年よりも気温が高い日が続き、熱中症も心配される事から屋内で体験できる内容での開催となりました。



子ども21

名、大人17名の合計38名の参加があり、北区防災センターでは3グループに分かれて「地震体験」「消火体験」「展示ホール見学」を行いました。

地震体験では、軽度の揺れから最後は東日本大震災と同じ揺れの震度7を当時と同じ約3分間体験しました。消火体験では、消化器の正しい使い方を教えていただき、的を狙っての放水体験を行いました。展示スペースでは、被災現場を再現したスペースや屋内で地震対策が学べるスペースもあり、近年増えている地震に対しての備えをもう一度考える事ができる貴重な体験となりました。



消火訓練

早朝からの出発でしたが、気がつけば笠懸に帰着し、子ども達の「楽しかったー！」と言う声が多く聞く事ができた1日でした。

**特別区費を通じて3区の運営にご協力を頂いている企業です**

萬家笠懸店、くりた医院、はしづめ歯科医院、セブンイレブン桐生バイバス店、東武観光(株)北関東営業所、金子耳鼻咽喉科クリニック、フレッセイ笠懸店、古室歯科クリニック、グリン歯科クリニック、志なの屋、桐生地方卸売市場(株)、上毛バナナセンター(有)加工所、(有)サン・ビー・シー・群馬工場、岩瀬産業(株)桐生機工営業所、あざみん家、(株)テクノオリジン、窪田縫製(有)、業務スーパー・ポート笠懸店、関東マツダ桐生かさかけ店、メンズプラザAOKI笠懸店、沼田屋タクシー(株)、TAX桐生店、あすからいふ俱楽部、稻川工業(有)、セリア、スシロー、ビッグマーチ桐生店、澤アパート、株式会社創健社、忠兵衛茶屋(有)、桂建設株式会社、東邦薬品(株)、スズキ自販群馬(株)桐生営業所、かさかけメモリードホール

**子ども祭り、親子で楽しむ**

8月24日(土)10時より笠懸公民館主催、笠懸地域こどもまつり実行委員会主管による第37回みどり市笠懸地域こどもまつりが開催されました。

このまつりは「親子で楽しむ体験」をコンセプトに屋外では模擬店やおもちゃやすい・ヨーヨーなど・公民館内ではプラバン・バルーンアート作りや囲碁・将棋教室・スクランブルアウト・輪投げなど多彩なイベント体験が行われていました。



当日は30℃超えの真夏日でしたが、夏休み最後の週末ということもあり家族連れて賑わっていました(写真)。

**東 小学校で稲刈り**

10月16日(水)午後1時30分から約2時間、東小学校近くの水田(4アール)で、東小5年生3クラス70名と先生や保護者、地域協力者など18名によるモチ米苗の稲刈りと天日干し作業が行われました(写真)。

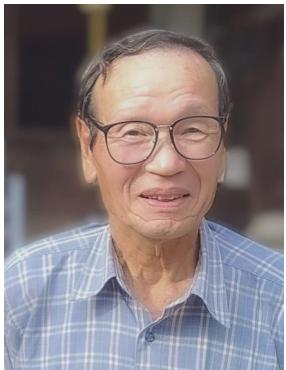
**5年生の5・6時間目を使う総合学習**

の一環で、6月14日の田植えにつづいての作業でした。鎌を使う上の注意点を確認後に生徒や保護者、地域センターが稲を結束して天日干しの鉄竿にかける作業を行いました。

雨が予想されたため30分早めの作業になりました。生徒達は3人1組で、刈り取り1名、結束1名、搬送1名と流れ作業で進みました、鎌を扱うことから周りに気をつけ慎重に臨んでいました。

## 人物紹介 大須武夫さん

大須さんは現在77歳です。これまで3区地域の活動は、子ども育成会、3区地区公民館役員、交通指導委員のほか環境衛生委員、行政区区長、安全安心推進委員、交通安全会等の役員を歴任しました。



現在は3区親老会長のほか浅海八幡宮総代など多方面で活躍しています。

また、数多くの福祉活動にも参加していて、親老会では、明るいリーダーシップで、人気の高い存在です。今後、益々のご活躍が期待されています。

## 猛暑、令和6年の夏は記録的。振りかえれば米不足か

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という諺がありますが、令和6年の夏の猛暑も今となつては思い出すのも難しくなってしまいます。それでも8月に入りスーパーの店頭でコメの品薄感が広がり、ニュースとなったことを記憶されている方も多いと思います。

これは令和5年夏の猛暑が影響していて、水稻が高温障害をにより歩留まりが下がり、良品率が悪くなりました。このように昨年のコメの品質低下により新米が出回る前の端境期にあたる8月には店頭での品薄の要因になったと言われています。



豊かに実った稻穂

## 敬老祝賀行事として記念品を配布

10月30日(水)、第3区の敬老祝賀行事として、80歳以上の方の見守りを兼ねて商品券、菓子等を配布しました。昨年度の対象者は211名でしたが、今年度は215名、最高齢者は100歳でした。行政区役員と民生委員で各家庭を訪問し、近況の確認やお身体の調子をお聞きするなど、見守り活動をおこなっています。

このような活動は家に籠りがちな方々にとって多少の気分転換にもなりますので、来年以降も継続していただければと考えます。

加えてインバウンド(訪日客)の増加や地震などの自然災害に対する危機意識から消費者の買いためも品薄感に拍車をかけて20年ぶりのコメの価格高騰にもつながったとも言われています。

農林水産省によると、令和6年産米の作柄は9月25日時点の調査で「やや良」との見通しが示されました。主産地を中心に出荷量も改善されてコメの供給は安定する見通しです。いずれにしても今後も温暖化の影響は避けられず、さらなる猛暑となればその影響は多方面にわたることを覚悟して生活をしていく必要があるかもしれません。

## ちょっとピンぼけ

昨年度にて任期3年の地域活動を終えました。初めは仲間もいるし何とかなるだろうと軽い気持ちでいましたが、各イベントでの会議・買い出し・片付け等、大変なことばかりでした。何とか有識者の方々や仲間の協力もあって乗り切ったという表現が適當でしょうか。

ある方に「こういう活動を通して知り合いが出来ることは財産だよ」と言わされたことがありました。実際

に活動してみて本当にそうだったと思う。大先輩から年のはい後輩までこの活動を通して多くの方々と出会い交流出来たことは、かけがえのない経験となりました。

これからも地域活動を継続していくよう興味のある方・勧誘された方は、是非とも一步踏み出して参加していただきたいと思います。そして、この貴重なつながりを体験してみてはいかがでしょうか。(ふ)